

科目名		特別支援教育
担当教員		義永 睦子・鳥海 順子
授業方法		講義
科目の概要	到達目標	<p>この科目では、特別支援教育についての基本的考え方を理解し、障害を持つ子どもの育ちおよび学習を支援する方法についての基礎知識を習得することを目的とします。</p> <p>障害をもつ子どもに接するとき私たちが無意識にもつ考え方を意識化して捉え、障害を多面的に捉えるようにします。また、障害をもつ子どもの保育・教育について、基礎知識を修得します。さらに、母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性についても学びます。統合保育や小学校、中学校、高等学校における特別支援教育における子どもたちの育ちの様子や支援の方法、保育者・教師の在り方、他機関との連携についての理解を深めます。</p>
	テキストの概要	<p>このテキストでは、「第Ⅰ部 障害とはどういうことか」、「第Ⅱ部 障害をどのように理解し支援すればよいか」、「第Ⅲ部 障害にどのような教育的支援が必要か」の3つの大きな柱を立て、障害および障害を持つ子どもへの支援について学びます。障害を持つ子どもの幼児期から学童期以降にわたる障害児教育(保育)を見通し、個別的な対応だけでなく、集団を活かした支援や、保護者を含めた家族支援の視点を取り入れたテキストとなっています。</p> <p>「第Ⅰ部 障害とはどういうことか」では、基礎知識として、障害の捉え方、障害児保育・特別支援教育の歴史的視点について学びます。また実際に子どもの教育(保育)に当たる際に不可欠な障害児の発達とアセスメントについても理解を深めましょう。</p> <p>「第Ⅱ部 障害をどのように理解し支援すればよいか」では、障害の特徴について理解を深め、支援の留意点について学びましょう。</p> <p>「第Ⅲ部 障害にどのような教育的支援が必要か」と「資料集」では、幼児期から学童期以降にわたる障害児教育(保育)の実践における展開や母国語や貧困の問題等により特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応を念頭に、個別的な対応だけでなく、集団を活かした支援や、保護者を含めた家族支援にも理解を深めていきましょう。</p>
授業計画		<p>WBTで出題される所定の回数のエクササイズに合格の後、WBT上で行われる単位認定試験に合格することで2単位を認定します。</p> <p><自宅学習></p> <p>第Ⅰ部 障害とはどういうことか</p> <p>第1章 障害の捉え方</p> <p>第2章 障害児教育(保育)の歴史的視点</p> <p>第3章 障害児の発達とアセスメント</p> <p>第Ⅱ部 障害をどのように理解し支援すればよいか</p> <p>第4章 視覚障害・聴覚障害の理解と支援</p> <p>第5章 知的障害の理解と支援</p> <p>第6章 肢体不自由の理解と支援</p>

2020 武蔵野大学 通信教育部 幼免上進シラバス

	第7章 病虚弱の理解と支援 第8章 自閉症の理解と支援 第9章 ADHD の理解と支援 第10章 学習障害の理解と支援 第Ⅲ部 障害にどのような教育的支援が必要か 第11章 保育・療育機関などにおける障害児保育の展開 第12章 小学校・中学校などにおける特別支援教育の展開 第13章 特別支援学校における特別支援教育の展開 第14章 個別の教育支援計画などの作成と実施 第15章 さまざまな特別の教育的ニーズのある子どもと保護者への支援
成績評価の方法	単位認定試験
備考	